

平成 27 年度 第 12 回豊能町教育委員会会議（2 月定例会）会議録

日 時：平成 28 年 2 月 25 日（木）午前 9 時 30 分～午前 11 時 40 分

場 所：豊能町役場（2 階）大会議室

出席者：教育長 石塚 謙二

教育委員 岸本 恵子（教育長職務代理）

教育委員 太田 佳子

教育委員 川村 新

教育委員 宮崎 純光

事務局：教育次長 板倉 忠

教育総務課長 塩山 博之

教育支援課長 小田 恵美子

生涯学習課長 小竹 温彦

教育支援課子ども支援室長 川西 弥生

教育総務課課長補佐 入江 太志

教育総務課主査 久保 晃

教育総務課主査 萩原 哲也

傍聴者：1 名

会議次第

1. 議長（教育長）あいさつ

2. 議 事

- ・第 16 号議案 平成 27 年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について

3. 報告事項

- ・平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（本町概要）について
- ・町社会教育委員会による「豊能町における今後の社会教育の方針とその施策等について（提言）」について

4. 各課、室の取組について

開会 午後 9 時 30 分

1. 議長（教育長）あいさつ

議 長：本日の出席者は 5 名全員である。過半数に達しているので、ただいまから 2 月度の定例会を開会する。会議録署名人を岸本教育長職務代理にお願いする。

2. 議 事

議 長：「第 16 号議案 平成 27 年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について」を議題とするが、当議案は、対象世帯の所得や生活状況等の個人情報を取り扱うため、豊能町教育委員会会議規則第 5 条の規定により秘密会として審議したい。

(委員：全員異議なし)

議長：当議案の審議を秘密会とする。  
当議案について、事務局より説明を求める。

事務局：(議案書、資料に基づき説明) (新規申請分 1 件)

(質疑応答)

議長：質疑を終結する。

提案のあった第 16 号議案に賛成の方の挙手を求める。

(挙手全員)

挙手全員である。よって、第 16 号議案は可決された。

議長：審議事項は以上である。以上で秘密会を解く。  
次に、報告事項として、「平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」について事務局より報告を求める。

事務局：(資料に基づき本町の調査結果について報告)

- ・平成 27 年 4 月から 7 月にかけて、町内の小学校 5 年生 122 名、中学校 2 年生 134 名を対象に調査を実施し、調査率はどちらも 100% である。
- ・結果を見ると、特に本町の「投げる」は、課題があるが、年度間に大きな差異は無い。
- ・体格については、本町は全国平均よりやや小柄で細い。
- ・体力・運動能力については、本町は上体起こしが優れているものの、小学生はシャトルラン・反復横とび、中学生はハンドボール投げに課題がある。
- ・特に中学生が、「投げる」(ハンドボール投げ)は課題で、全国及び府平均を下回っている。「投げる」という機会が減少しているのではないかと考えられる。
- ・柔軟性は比較的高い。
- ・総合評価では、全国も同じ傾向だが、全体的に男子より女子の方が体力・運動能力が高かった。
- ・中学校では、男女とも全国を下回っている項目が多く、今後の課題である。主に持久走、立ち幅跳び、ハンドボール投げにおいて全国平均を下回っている。逆に、男女とも上体起こし、男子の反復横とび、女子の 20 メートルシャトルランは、全国平均を上回っている。
- ・児童・生徒への質問では、全体的に運動は好きと答え、特に中学校男子は運動が好きと答えている割合が高い。一方、運動する意識はやや低く、時間もやや少ない。学校や地域で差が見られた。
- ・家庭でスポーツを話題にするか否かで、運動能力、運動への関心等に大きく差が出ている傾向もある。また地域によって差異が見受けられる。
- ・「食事・運動・睡眠」の健康 3 原則に関しては、運動に積極的でない、関心が低いと答えた層と朝食を摂っていないと答えた層で相関関係がある結果となっている。家庭・地域と連携して、健康 3 原則の大切さの指導を進めることが重要である。
- ・オリンピックやパラリンピックへの関心については、特に大会ボランティアに関わってみたいと考えている率が全国平均より高かった。奉仕精神、世の役に立ちたいという思いを感じた。

- ・総運動時間は2極化が見られた。
- ・生活習慣ではテレビ・スマホ等の使用時間はほぼ全国平均と同様であるが、運動不足につながらないか等、今後考慮することも必要と考えられる。
- ・授業づくりについて、体格や運動能力に関連し体育の授業の重要性が高い。
- ・児童・生徒のできた喜びについては、児童・生徒がお互いに教え合うことによって、また、実際に教員が師範したり、児童・生徒が実際に行ってみるによって得ることができる。それが授業は楽しいという思いや意識につながり、より良い授業づくり、話し合う授業、コミュニケーションの豊かな授業にもつながっていくと考えている。
- ・この全国調査の結果を踏まえ、全国の体力合計点の上位校は、結果を分析し授業改善を行っている。本町においても、各学校において「体力づくり推進計画」（体力づくりアクションプラン）を作成するよう指示しており、体育・保健体育の充実を目指す。
- ・体を動かす喜びや大切さを含め、体育のユニバーサルデザイン（どの子もわかる、どの子もできる）授業として活かしていくことも重要と考えている。
- ・就学前とのつながりにおいて、保育所・幼稚園・こども園で進めている「幼少期の運動あそび」を小学校と連携し、運動への意欲・関心を高め、体づくりに努めていく。
- ・地域とも連携して、小学校においても安全・安心な放課後の活動場所の提供に努める。
- ・「2×2（ツーバイツー）運動」（あいさつは、いつもの2倍の声で。学校園が始まる2時間前に起床し朝食を。テレビ・ゲーム機・携帯電話・パソコン等は2時間以内に抑える。家族と一緒に毎日20分以上は読書を。）を含めて、家庭・地域と連携して健康3原則（食事・運動・睡眠）の重要性を指導する。

議長：報告に対する質疑を求める。

委員：この全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、いつから実施しているのか。また、2×2運動、読書はどうか。

事務局：平成25年度からは実施していると思っている。2×2運動は、平成23年度からの実施で、規則正しい生活習慣・学力と体力・家族とのコミュニケーションの向上を図るものである。学校において横断幕を張り推進している。合わせて、読書の推進も実施している。

委員：報告の中で、地域・校区によって結果に差異があるのが気になる。良い結果が出た地域・校区の分を他の所でもぜひ広めて欲しい。また、中学校女子の「運動が嫌い」が「16.1%」について、体育実技は能力の差が目立ちやすい。授業について、教員は色々工夫してもらっていると思うが、もっと楽しくできるようにする等お願いしたい。

議長：今のご意見は「今後の対策」に反映、記載してよいか。

委員：「今後の対策」の記載箇所に「指導内容・方法の創意工夫に努める」旨が記されているので新たな追記はいらないと思うが、助言できるところは助言していただけたらよいと思う。

議長：「今後の対策」の記載部分で、抽象的な表現と思うので、本町として、どう具体化し進めていくのかという旨を明確に記してほしいというご意見として受け止めた。他に質問等はないか。

委員：去る1月29日に開催された大阪府町村教育委員連絡協議会研究会（田尻町於）に参加したが、一部ではあるが、小学校低学年では児童が体力測定の趣旨や実施方法等を十分理解しないまま行われている場合があるそうである。教員が一層しっかり指導したり、上級生が

お手本を示したりすることが大切である。また、運動すると健康寿命が延びると言われている。残念なことに、大阪府の健康寿命は全国で男性が下から4番目、女性が下から3番目とのことである。子どものころからの体力低下は問題で、体力向上を図ることが重要である。

議長：子どもの将来を考えると重要な課題である。また、「今後の対策」において、規律や授業改善関係等々について、もう少し記載した方が良いと思う。今、ご意見をいただいたことも含めて対策に盛り込まれているか事務局で検証して欲しい。この調査結果は報告案なので、引き続きご意見等をお願いしたい。

委員：「今後の対策」の保育所・幼稚園・こども園で実施の運動あそびの件で、小学校との連携について、小学校の教員が研修を受けることはあるのか。

事務局：授業時間帯が異なるので実施しにくい部分もあるが、実施しており、例えば、ひかり幼稚園と光風台小学校が行っている。また、夏季教職員研修において保育所・幼稚園・こども園の職員が小・中学校の教員と体育の授業づくりの研修を実施している。その際、外部から講師を招へいし研修を実施したこともある。

議長：過日、保育所の運動あそびを参観したが、小学校の授業に似ている部分もあった。異学年が合同で授業することは可能かどうか等々の検討も必要と思う。今後、他のご意見等があれば事務局にお知らせ願いたい。この調査結果は、いつホームページに掲載予定なのか。

事務局：ご意見等を反映し、3月中には行いたい。ご意見等は、3月10日頃までをお願いしたい。

議長：次に、報告事項として、町社会教育委員会による「豊能町における今後の社会教育の方針とその施策等について（提言）」について事務局より報告を求める。

事務局：（資料に基づき報告）

平成28年1月27日に教育長あてに豊能町社会教育員会会長より、豊能町における今後の社会教育の方針とその施策等についての提言をいただいた。（平成26年度諮問）豊能町教育委員会からの諮問事項は、「豊能町においては、今後急激に進む少子・高齢化の状況や町の財政健全化の必要性を鑑みながら、いかに学校教育と社会教育の質を維持・発展させていくかという視点を含んで、

- ①学校教育・地域・社会教育の充実（学社連携）の方針と方策について
- ②団塊の世代の地域社会への参加とその支援の方針と方策について
- ③今後の豊能町における公民館活動の在り方について
- ④生涯学習施設の運営形態の検討について

の4つの事項であった。

平成26年度は1回、平成27年度は3回社会教育員会を開催し審議した。

重視したことは、本町の特徴と今までの取組を踏まえ更なる発展をするにはどのような方針と具体策を構築していくべきかを議論していただいた。

今後の社会教育の方針とその施策について、次のような取組を提言いただいた。

- ①学校教育・地域・社会教育の充実（学社連携）の方針と方策について

<目指す方向性について>

「㊦もに学びあい ㊧りよい生きがいを ㊨ばしあう町 とよの」～発掘！豊能力～  
をめざしたシステムの構築 =地域人材活用率 府下ナンバーワンを目指す=  
地域の人材を“学びのボランティア”として、今以上に組織化・活性化することによ

り学社連携等を図る。

＜“学びのボランティア” 具体策等について＞

地域人材活用率（学校ボランティア参加延べ人数÷児童・生徒数）等の数値を採用しデータ化し、府下ナンバーワンを目指す。

＜その他の具体策等について＞

中学校の文化クラブの衰退対策として、地域人材の積極的な活用を行う。

②団塊の世代の地域社会への参加とその支援の方針と方策について

＜団塊の世代の自主的な活動をサポートすることについて＞

団塊の世代が参加しやすいよう、公民館活動・地域スポーツ団体活動への勧誘、住民活動への参加方法をどのように広報していくかを含めて検討し実施する等。

③今後の豊能町における公民館活動の在り方について

西公民館を中心として、更なる利用率の向上を図る。利用料金については、利用者が「必要経費を全額負担する」という“利用者負担の原則”を理解してもらえるように働きかけを行う。ただし、次代を担う「子どもの利用」については、次世代の住民を育成するという観点から、「全額減免を継続していくべきと考える。」

公民館利用団体は、“学びのボランティア”として、小・中学校の部活動の講師や援助者としての活動に貢献されているが、さらに豊かな団体活動にしていくこと等。

④生涯学習施設の運営形態の検討について

特に、「図書館の指定管理制度の導入」については、各課題を十分見極める必要がある等。

以上、報告する。

委員：先程の「“学びのボランティア” 具体策等について」の箇所で、「地域人材活用率」とその計算式があったが、これは本町以外（他市町村）においても算出しているものなのか。

事務局：町教委独自のものである。

議長：人材活用を本町の中心的なものにしよう等の意であろう。「農林業ボランティア」についても記されている。社会教育委員会会長のお話では、人材活用、ボランティア活動について、町として今後どうするのかと考えた時に、団塊世代の方々に町政に参加してもらうかということが重要で、町長部局とも連携していかなければならない。外郭団体との連携等も大切であるということであった。

委員：中央公民館の耐震工事対策はいかがか。

事務局：検討はしているが、予算要求までには至っていない。本庁舎の耐震化も含め町長部局が全体的に検討している。

議長：図書館の指定管理については、図書館協議会でも検討され懸念されている。各課題、懸念箇所等を十分に検討し見極める必要がある。

委員：①の＜その他具体案等について＞の部分で、「学校の空き教室を公民館活動等へ開放していく事業が可能となるよう云々」とあるが、小中一貫関係をどう方向づけるかで状況が変わ

ってくると思うので、先んじて動くことは問題ではないかと思う。

議長：校舎対策ということで慎重にと受け止めた。

委員：提言があったが、提言への教育委員会の対応を社会教育委員へ返すことや報告等のフィードバックする体制はあるのか。

事務局：社会教育委員へ報告等し、また、提言等をいただくこともあろうかと思う。

委員：色々なところから我々のご意見等をいただいている。それらの中で良い案等は実現していると思うが、このいただいた提言への教育委員会の対応を社会教育委員へフィードバックしてほしい。

議長：この提言は、町長部局にも見てもらうこととする。  
次に、前回の1月の教育委員会会議以降の主な動向等について報告を求める。

事務局：・東能勢小学校長の病気休暇について  
・平成27年度豊能地区教育委員研修会について（2月19日、池田府市合同庁舎於）  
・豊能町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正について  
・府教委からのヒアリングについて（専科指導・習熟度・スクールエンパワーメント授業・コーディネーターの各加配等）  
・教員初任者研修について（1月27日、光風台小学校於）  
・教員10年経験者研修について（2月16日、東ときわ台小学校於）  
・インフルエンザによる学級閉鎖等について  
・各保育所・園の参観について  
・すきっぷの家庭訪問型早期子育て支援事業について  
・子育て応援隊「すくすく」OB会について  
・すきっぷのおひさまルームでのひな人形の作成等について（2月28日～4月3日、吉川花折街道、吉川自治会館等於展示）  
・2月の「育児の日」のパステルアートについて（2月19日～20日。2日間で計60名参加。35家庭。うち大人34名、子ども26名の参加）  
・3月は今年度最後の「育児の日」を実施予定（3月19日、西公民館於）  
・心臓検診（小・中学校の1年生を対象に実施）は、平成28年度より業務委託及び学校保健法の一部改正で座高測定とぎょう虫検査が廃止。四肢（手足）の状態検査が追加、色覚検査を保護者の同意のもとに実施。  
・陶芸教室について（1月30日、2月20日ともに中央公民館於、計55名参加）  
・ロビーコンサートについて（2月6日、ユーベルホール於、50名参加）  
・ユーベル寄席について（2月13日、ユーベルホール於、475名参加）  
・昼下がりの音楽会（2月20日、ユーベルホール於、42名参加）  
・箕面森町妙見山麗マラソン大会（3月6日、箕面森町・東ときわ台於、1,229名参加予定）  
・1市3町（川西・猪名川・能勢・豊能）教育長意見等交換会について（2月17日、本町役場於）

委員：平成27年度豊能地区教育委員研修会について委員より報告  
（2月19日、池田府市合同庁舎於）

事務局：3月の教育委員会会議でご審議いただく平成28年度豊能町教育基本指針（案）を配付するが、3月の教育委員会会議までにご意見等をお願いしたい。

議長：以上で、本日の日程は終了である。

次回以降の教育委員会会議の日程を調整したい。

3月度の教育委員会会議については、3月18日（金）午前9時30分より開催予定とする。

4月度の教育委員会会議については、後日調整するものとする。

これで本日の教育委員会会議を閉会する。

閉会 午前11時40分

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成28年2月25日 署名

豊能町教育委員会教育長

石塚謙二

会議録署名人

岸本恵子